

令和元年度 日本電子専門学校
第二回学校関係者評価
中間報告会報告書

評価対象期間 自：平成31年4月 1日
至：令和 元年9月30日

令和元年11月

学校関係者評価委員会

目 次

I	学校関係者評価の概要と実施状況	1
	1. 学校関係者評価の目的と基本方針	1
	2. 学校関係者評価委員名簿	2
	3. 学校関係者評価委員会の実施状況	4
	4. 令和元年度中間報告の実施と評価の仕方	5
II	学校関係者評価報告書の見方	5
III	学校関係者評価委員会 評価結果報告書	6
	総評	6
	令和元年度前期の取組（中間報告）に対する評価と意見	
	○教育重点項目	7
	1. NEXT10（日本電子専門学校の更なる伸張）の確実な実施	
	2. 教育体制の確立	9
	○総合評価	10
IV	学校関係者評価委員会議事録	13
	○全体自由意見	16
V	付属添付資料 自己評価報告書（説明資料）	

I 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

日本電子専門学校における学校関係者評価の目的を、以下のように定める。

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価をおこない、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②生徒・卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局、在学生など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

2) 基本方針

日本電子専門学校における学校関係者評価は、文部科学省及び私立専門学校等評価研究機構の『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って行うことを基本方針とする。

3) 委員会運営

令和元年度における学校関係者評価委員会を以下のように年2回の開催とする。

添付：自己点検評価（中間報告）

- ①第1回目(7月)に実施する委員会は、平成30年度（前年度）の運用実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告する。
また、令和元年度に定めた、重点的に取り組むことが必要な目標・計画を発表する。
- ②第2回目(11月)に実施する委員会は、令和元年度の運用に於ける実施状況の中間報告会として行う。

2. 学校関係者評価委員名簿

学校関係者評価委員として、卒業生、関係業界、職能団体、関係団体、高等学校、保護者、地域住民、在学生に委嘱した。

属性	氏名	所属	役職
企業	浅賀 央起	株式会社ぴえろ	人事総務部 部長
	石本 則子	株式会社スタジオフェイク	代表取締役
	井沢 祐	株式会社スタジオフェイク	研究開発部 ディレクター
	川崎 紀弘	株式会社コンセント	プロデューサー
	舟山 大器	株式会社横浜環境デザイン	社長室長
	乗浜 誠二	株式会社ナレッジコンスタント	代表取締役
	新 和也	オートデスク株式会社	メディア&エンターテインメント テリトリーマネージャー
	渡邊 登	合同会社ワタナベ技研	代表
	佐々木 伸彦	ストーンビートセキュリティ株式会社	代表取締役
職能団体	満岡 秀一	一般社団法人 Open Embedded Software Foundation	理事
	篠原 たかこ	CG-ARTS (公益財団法人画像情報教育振興協会)	教育事業部 事業部長
	中台 浩正	東京商工会議所 新宿支部	事務局長
	原 洋一	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会	理事・事務局長
	米井 翔	一般社団法人組込みシステム技術協会	研修委員会 副委員長
卒業生	谷 伸城	株式会社アプリケーションプロダクト	プロジェクトマネージャー
	中山 秀昭	日本電子専門学校同窓会	副会長

保護者	植村 美智子		
	本郷 幸子		
	厚川 万里子		
	竹中 伸江		
高校教員等	四條 勇人	株式会社ウィザス	教育運営部 ICT推進室 室長
	松下 秀房	目白研心中学校・高等学校	理事 校長
	勝間田 清一	日本大学生物資源科学部	非常勤講師
日本語学校	沼田 宏	株式会社インターカルト日本語学校	教務部長
地域住民	小澤 博太郎	百人町西町会	会長
在校生	大久保 匠真	コンピュータグラフィックス研究科	2年生
	菊地 聖治	Webデザイン科	2年生
	阿部 一恵	コンピュータグラフィックス科	1年生
	新井 大成	ゲーム制作科	1年生
	松井 双綺	高度情報処理科	1年生

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

1) 学校関係者評価委員会実施日時・場所

日時：令和元年11月18日(月) 15:00～17:00

場所：日本電子専門学校 本館地下1階 1B11 教室

2) 学校関係者評価委員会 進行

(1) 事務連絡(スケジュール、配布資料確認) 15:00～15:15

(2) 校長挨拶

(3) 出席者紹介(日本電子教職員、評価委員)

(4) 評価方法説明

(5) 議長(委員長)選出

(6) 委員会開始中間報告 15:15～15:50

○令和元年度自己点検中間報告

<教育重点項目に関する中間報告>

1. NEXT10(日本電子専門学校の更なる伸張)の確実な実施

1) 「建学の精神」の実現に向けた「教育の質の保証・向上」

2) EM・IRによる組織的學生指導体制の充実

3) 學生主導で社会人基礎力を養うキャリア教育の充実

2. 新教育体制の確立

1) クリエイター教育・エンジニア教育・学事部

キャリアセンター・広報部

・・・ 評価結果の判定(評価シート記入) ・・・

○令和元年度前期トピックス報告(映像) 16:00～16:10

○「情報経営イノベーション専門職大学」について報告

16:10～16:20

(7) 全体自由意見

16:20～16:50

4. 令和元年度中間報告の実施と評価の仕方

1) 自己点検中間報告の実施

日本電子専門学校は、第2回学校関係者評価委員会の実施に先立ち、文部科学省及び私立専門学校等評価研究機構の『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って、令和元年度中間(4/1～10/31)の自己点検を実施した。自己点検項目は、令和元年度における「教育重点項目」2項目であった。

2) 中間報告の評価

学校関係者評価委員は、日本電子専門学校の説明を受け、項目ごとに前期の取り組みが「十分」または、「不十分」の2分法にて評価を行い、その理由や意見を「学校関係者評価委員会 評価記入シート」のコメント欄に記載した。

最後に、日本電子専門学校は、評価項目や学校・学科の改善に関する学校関係者委員の自由意見を聴取した。

学校関係者評価 中間報告評価記入シート 例

教育重点項目

重点項目1 職業実践専門課程への対応

評価結果

⊕

不十分

コメント欄

II 学校関係者評価報告書の見方

1. 自己評価結果の結果集計

学校関係者評価委員25名が記述した評価記入シートより、「十分」記入数、「不十分」記入数を集計しパーセント表示した。

2. 委員コメント

評価記入シートの委員コメント欄に、学校関係者評価委員が直接記入したコメントを項目毎にまとめた。

3. 全体自由意見

評価終了後、委員全体から聴取した意見をまとめた

Ⅲ 第二回学校関係者評価委員会 評価結果報告書

総評

第二回目（11月）に実施する委員会は、「令和元年度の運用に於ける実施状況の中間報告会として行う」ことになっており、この規定に従い、日本電子専門学校令和元年度前期中間報告会を令和元年11月18日に実施した。

今回の委員会は、2つの「教育重点項目」について、その中間報告が校長より行われた。また、令和元年度前期のトピックス（様々な競技会などの入賞実績）が映像で紹介された。

評価については、学校担当者からの報告に基づき、参加委員25名が項目ごとにその取り組みが「十分」であったか「不十分」であったかを判断し、コメントを記載した。評価結果は以下の通りであった。

<教育重点項目に関する中間報告>

1. NEXT10（日本電子専門学校の更なる伸張）の確実な実施（十分：25、不十分：0）
 - 1) 「建学の精神」の実現に向けた「教育の質の保証・向上」
 - 2) EM・IRによる組織的學生指導体制の充実
 - 3) 学生主導で社会人基礎力を養うキャリア教育の充実
2. 新教育体制の確立（十分：25、不十分：0）
 - 1) クリエイター教育・エンジニア教育・学事部・キャリアセンター・広報部

この評価結果は、日本電子専門学校の取り組みが委員に認められた証であり、多くの委員がコメントにもそのように記述している。

今回の報告で、委員から関心が高かったのは、学生に対するアンケートについてであった。卒業生のアンケートから、教員が基本理念やポリシーに基づき行動している結果、就職に繋がっているということが想像できる。アンケートの結果を受けて、常に改善に繋がっている姿勢も良い評価になっていると考えられる。

また、NEXT10については、データ化が行き届いており、細かいところまで見える化が図れて良いとの意見もあった。

最後の自由意見交換でも参加者全員から意見をいただき、様々な改善の提案や要望など大変有意義な意見が出されているので、今後の取り組みにぜひ活かしてほしい。

学校関係者評価委員会
委員長 舟山 大器

令和元年度前期取組（中間報告）に対する評価と意見

令和元年 11月 18日

参加者 25名

教育重点項目

重点項目 1 NEXT10（日本電子専門学校の更なる伸張）の確実な実施

評価結果	十分：25 100%	不十分：0
------	---------------	-------

コメント欄

- ① 弊社内の日本電子 OB・OG をみていると Enrollment Management についてはかなり充実していると感じています。また、卒業生アンケートの内容を拝見しましたが、企業側から視点もほぼこのような感じを持っており、正確に現在の状況を反映しているものと思います。（浅賀）→十分
- ② 1：ポリシー策定プロジェクト：2019 年度の 6 学科がどのような内容にあるかの概要をお知らせいただき良かったです。 2：EM・IR：アンケートの取得は素晴らしいと思いますが、その後の学生指導の質向上へのラインが見えませんでした。アンケートに問題が無ければ指導の改善は行われないのでしょうか？（そんなことはないと思いますが…）
3：学生主導：学生主導の活動が盛んなのは素晴らしいとして、それがキャリア教育に結びついているかの評価基準が解りづらいです。いずれも今後の改善を期待しています。（石本）→十分
- ③ H30 卒業生アンケート、おもしろいと思います。工業系の傾向は理解しますが、それでも平均以下になった項目についてひととおり目を通して改善について議論していただけるとよいのかなと思いました。更なる質向上に向けてのよいヒントがあるのかなと思います。（井沢）→十分
- ④ 大学をベンチマークとした推進は素晴らしいと思います。学生にも周知することで、自尊心の向上に役立つのではないのでしょうか。（川崎）→十分
- ⑤ 三つのポリシーも定着して来ていると思います。基本理念策定プロジェクトも携帯しながらいつでも見れる様、工夫されていてより身近なものとなっている。意識調査からもその伸張と定着はして来ている。（乗浜）→十分
- ⑥ なぜ教員のアンケートをとったか、ポリシー策定・基本理念の策定の流れから良く分かった。また単なる、自己診断に終わらず、面談などしっかり行っている点も良い。また卒業生のアンケートからも、教員がポリシーや基本理念に基づき行動している結果、就職につながり良い評価になっているのではないかと考えられる。他のアンケートも素晴らしいと思う。→（舟山）十分
- ⑦ アンケートを見る限り、高い点数であるのは素晴らしいと思います。ただ、日本電子さんにはその数字で満足することなく圧倒的な地位になる事を期待していません（新）→十分
- ⑧ 細かい計画や実施でよいと思います。更なる成長が望めるよう努力して戴きたい

と思います。(勝間田) →十分

- ⑩ 卒業生アンケートが大変興味深かったです。「資格取得できる」に対する結果が低いにも関わらず、キャリアビュー内就職支援が高いことから、資格取得に依存しない支援力や実践的な教育が行われているとも考えられました。
また、アンケート結果を受けて、改善につなげられている姿勢が素晴らしいと思いました。(佐々木) →十分
- ⑪ 教育者、新入生、卒業生にアンケートを行い、外部の視点も取り入れながら取り組まれている姿勢に共感しました。学生自治会やクラブ活動など学生主体の活動を前向きにとらえ、取り組んでいます。(篠原) →十分
- ⑫ 企業の求めている学生の実力との差をうめる為にも、企業連携やインターンシップなどを充実させて、学生の学習意欲やモチベーションの up を図ってほしい。企業の内容を知ること、離職も減ると思います。(企業はせっかく採用した社員が、短期間で離職するのが一番困るので)
授業アンケートの分析と改善は、教師として基本だと思う。(中台) →十分
- ⑬ 教育重点項目に対する施策を着実に進めている印象を受けました。(米井) →十分
- ⑭ 3項目ともデータ化され「見える化」を図られたことは、評価委員にとって現状の理解度が深くなりよかった。(松下) →十分
- ⑮ 特に学生満足度調査、卒業生アンケート、新入生アンケートについてしっかりと学生の声を吸い上げ、学校運営に活かそうとしている姿勢を感じた。他の専門学校との評価もよい。このアンケート結果を教務にどのようにつけていくのか期待したい。(四篠) →十分
- ⑯ 取り組みの内容はどれも必要なものであると思います。
これまでの評価委員会の中で厳しすぎるのではないかとも思える、自己評価もありましたが、その厳しさが成果につながっているのでしょうか。不断の改善の言葉の通り、今後もよりよい教育を確立していただきたいと思います。(沼田) →十分
- ⑰ 学生から見て、お手本となるのが先生です。「教員の行動指針」で先生方が自己点検をすることは、より一層の質の向上を図れると思います。(小澤) →十分
- ⑱ 教員の行動指針があり良いと思います。(本郷) →十分
- ⑲ NEXT10の取り組みは学校の発展・向上につながるので大いに期待しています。(厚川) →十分
- ⑳ 学生にアンケートをとり、良い点・悪い点を学校側で分かると改善することができる。(竹中) →十分
- ㉑ 教員の行動指針に対して、卒業生等に対して行った調査でしっかりとした結果が出ていてとても良いと感じた。(大久保) →十分
- ㉒ 新校長になり、今年からの新しい取り組みや、学生主体性向上の実践等を見る限り、良い方向に進んでいると思うので、今後も続けていってほしい。(阿部) →十分
- ㉓ 3つのポリシーがしっかりあることは学生としてありがたいです。他の専門学校にはない先駆けは、差別化もできて良い方向に進むと思います。(新井) →十分
- ㉔ 卒業生アンケートで「取りたい資格が取得できる」について、所属している科で学

んでいる分野以外の資格に関心を持っている人がいるかもしれないので、資格の
 情報（内容、メリット、時期）をもっと生徒に発信してみてもいいかと思いま
 した。（松井）→十分

重点項目2 教育体制の確立

評価結果	十分：25 100%	不十分：0
------	---------------	-------

コメント欄

- ① 学校の組織体制・教育体制が確固となればなるほど、優秀な学生さんが巣立って
 いくのではないのでしょうか。NEXT10 と併せ、不断の改革改善の実行をお願いした
 いと思います。（浅賀）→十分
- ② 組織を作り、責任者を明確にされたのは大変良いと思います。今後はエコサイク
 ルを廻し、自己改善できる組織になれるよう、逐次改良をして行かれますように
 願っております。（石本）→十分
- ③ クリエイター系とエンジニア系の連携を強化していただけると嬉しいなと思いま
 す。（井沢）→十分
- ④ クリエイター教育、エンジニア教育それぞれで部長を設置したことが今までなか
 ったですよ？？組織接遇がわかりやすくて良いと思います。（川崎）→十分
- ⑤ 船山新校長体制のもと、各教育や学内学外プロジェクトも進行していて、順調な
 様子が伺える。またアンケート調査からも、その事が解る。（乗浜）→十分
- ⑥ 新教育体制としては、学内プロジェクトの成果として「専門職大学設置」できた
 点は大変良い結果といえるのではないかと思われる。本当に良く頑張っておられ
 ますね。（舟山）→十分
- ⑦ 教育を2つにわけたのは理解できたが、どういう内訳なのかがわかりませんでし
 た。前回ご説明されていたらすみません。でも、コラボできないと意味無くなる
 かも。（新）→十分
- ⑧ 新しい体制の骨ができたと思います。あとは、各セクションで目標に向かって、
 進んでもらえば良い教員チームワークがとれば良いですね。（勝間田）→十分
- ⑨ 新体制で大変な事も多いと思いますが、これまでの良い点をさらに伸ばして頂け
 るよう期待しています。（佐々木）→十分
- ⑩ 他校または団体との連携に多数とりくまれており、共感致しました。（篠原）→十
 分
- ⑪ 学内外のプロジェクトに多数参画し、教育の質の向上に努力している印象をうけ
 ました。（米井）→十分
- ⑫ 学生さんが授業以外の時間で様々な活動を通してコミュニケーション力。グルー
 プワーク力・ファシリテーション力を身につけることは、大事なスキルになる。（松
 下）→十分
- ⑬ 情報経営イノベーション専門職大学と日本電子専門学校の連携に期待したい。（四
 篠）→十分

- ⑭ 学内プロジェクト、学外プロジェクトの充実により教育効果がより充実するかと
思います。(小澤) →十分
- ⑮ 新設される大学も気に入りしました。(厚川) →十分
- ⑯ 各部門がある事で細かい教育体制で充実した指導ができる。(竹中) →十分
- ⑰ 企業の方を講師として業界に関するお話を聞く機会があり、スキルだけでなく業界
の意識もついて良いと思いいいます。(新井) →十分

総合評価

評価結果

コメント欄

- ① 再三申し上げておりますが、アニメーション科、アニメーション研究科の資格取
得目標である「色彩検定」については、是非再考していただきたいと思いいいます。
学生さんたちも必要性を感じないからこそ、取得率が低迷しているものと思いい
ます。(浅賀)
- ② 1: 船山先生、杉浦先生の新体制で、まだまだこれからだと思いいいます。頑張っ
てください!! 特に、五十嵐先生が今後CGとゲーム系学科の上に立たれるとのことで、
一度離れてしまったCG系デザイナーと、ゲーム系の企画、プログラマーがJoin
することを強く希望いたします。 2: i 専門職大学について設置認可おめでと
うございます! 多先生の念願が叶って本当に嬉しいです。日本電子の良さを活かし
た素晴らしい学び舎になりますよう祈っております。(石本)
- ③ 上記2項目が総合と等しいコメントです。大学の設立、おめでとうございます。(井
沢)
- ④ 上にも話しましたが、大学をベンチマークとしていることで、今後どんどん変化
していく、トレンドに対応できるようになってよいと思いいいます。さらに、専門職
大学を設置することでさらなる、リアルタイムでの対応ができる連携を期待しま
す。(川崎)
- ⑤ 学校の改善に関しましては、従来のコアな教育の益々の充実・充足とやはり新分
野・新技術に関して、IT関連のものは、積極的に取り入れていき、時代の最先端
教育が出来るのが、専門学校のみである。その為には、より幅広い意見・情報
を教職員をはじめ卒業生、学校関係者(評価委員等)からも収集し実施していく
事が大事であると思いいいます。(乗浜)
- ⑥ 2019年前期授業アンケートから、学生からの評価は概ね高いといえる。更なる向
上を目指そうとする姿勢も良く分かった。(舟山)
- ⑦ 元々、日本電子さん自体は歴史も実績もある学校だと理解しています。なので、
さらに今までの上に行くようなわくわくする取り組みをして頂けたらなと思いい
ます。(新)
- ⑧ 学生へのアンケート、細かく行っています。全体的に良い結果として学生が評価
しているようです。改善点も少し見られます。それらの点についても目を配る必
要があると思いいいます。(勝間田)

- ⑨ 資格取得の目的や意味、メリットなどについて丁寧な説明を実施されることも良いと思います。(佐々木)
- ⑩ とても真摯に地道に改善を進めていると感じます。アンケートでの気になる(少し低い)点を意見収集など行いながらさらに良い方向に進むことを願っています。追伸：産業連携にてお手伝いできることがございましたらお知らせくださいませ。制作発表会や就活に感ずるイベントなどに協賛会社等のプロダクションにお声がけが可能です。(篠原)
- ⑪ 専門学校の学校関係者評価委員会ですので、専門職大学のお話は不要かなと思います。(米井)
- ⑫ 21世紀を豊かに生きる人材の育成という点から、考えて大変意義のある教育施策である。素晴らしい。(松下)
- ⑬ 1.に記入した通り、学生、卒業生アンケートをしっかりと吸い上げ、課題の抽出、今後の対応について活かそうとする姿勢を感じた。ほぼすべての項目において(卒業生アンケート)、他の専門学校よりも優れており、これまでの歴史からブランド力(信頼)があるのではないかと感じました。授業アンケートも評価は高いが、少ないながらも、満足度が低いものもある。数字だけでは見えにくい点もあるので、フリーワードで入力させる項目もあったほうが良いかもしれない。学力三要素の内、「知識・技」は学校での学びで修得できる。「思考力」、「判断力」、「表現力」を身につける+主体性を学ぶ姿勢をどう伸ばすか、お願いしたい。(四篠)
- ⑭ アンケートに関しては全体的には素晴らしい結果であると思いますが、2-1(16ページ)学校のイメージ(3つの視点)の中の“取りたい資格が取得できる”の項目が全国参画校のデータを(大きく)下回っているのが気になります。資格の取得に関しては力を入れているという認識ですが、このような結果になった理由の分析はされているのでしょうか。(沼田)
- ⑮ 数値にて評価・検証する仕組みが素晴らしいと思いました。「教育の質の保証・向上」の面においても数値にて表現されることを期待します。ステークホルダーに対してとても良いアピールになると思います。(谷)
- ⑯ 大変きめの細かい対策がとられています。学生にとって魅力のある学校として学園が発展するのは大変楽しみです。(小澤)
- ⑰ 有料のライセンスを学生向けに無料で発行されているものがあるが、後期でそのソフトを使うまでライセンスの案内はできないといわれたようですが、ライセンス案内の公開時期は決まっているのでしょうか。(植村)
- ⑱ 保護者としては学生のよりよい学びができているところが気になりますので、教員の自己診断などの取り組みをしている事は良いことだと思いましたので、これからも学生第一での教育をお願い致します。(本郷)
- ⑲ 学生の声を聴くことは大切なことです。一人ひとりが充実した学校生活を送ってほしいと思います。(厚川)
- ⑳ 改善するところは無いのでは。と思うくらい、学校、先生方のご指導は充分だと思います。学生の為、教育の質の向上のために、これからも評価をする事は大切だ

と思います。(竹中)

- ②④ 資格に対して取るべき資格、取った方が良い資格についての情報が足りないと思います。HPでの情報配信を増やした方がいいと感じました。(大久保)
- ②③ 卒業生に対するアンケートで工業分野は評価が全体的に低いにも関わらず、本校は平均値やそれよりも高い評価を得ていたことは良いことだと思った。しかし、やはり資格取得の面での課題があるので、今後改善していければと思う。学生の中で、資格がなぜ必要なのか分からずに対策を行っている人がいるため、なぜその資格が必要かなどを学生に伝えればもう少しやる気も向上するのではないか。(阿部)
- ②④ 他にはない専門職大学やない専門学校もある3つのポリシーなど、時代の先がけは素晴らしいと思います。卒業生アンケートで低い結果だった「取りたい資格が取得できる」に関しては、今後資格取得の取り組む必要の有無を考えて、無いと判断した場合は生徒に理由を伝えてほしいともいます。前回決まっていなかった3つのポリシーも決まり、これから良い方向へ進んでいけると思います。(新井)
- ②⑤ 科の先生もとても新身になって教えてくれて、これからの学校生活が楽しみです。専門知識の証明としても資格の取得は重要であるので、資格を取得しやすい環境作りをしてほしいと思います。(松井)

IV. 令和元年度第二回学校関係者評価委員会議事録

1. 日 時 令和元年 11 月 18 日（月） 15：00～17：10
2. 場 所 日本電子専門学校 本館地下 1 階 1B11 教室
3. 参加者 学校関係者評価委員、日本電子専門学校担当者

属性	氏名	所属	役職
企業	浅賀 央起	株式会社ぴえろ	執行役員 人事総務部 部長
	石本 則子	株式会社スタジオフェイク	代表取締役
	井沢 祐	株式会社スタジオフェイク	研究開発部 ディレクター
	川崎 紀弘	株式会社コンセント	プロデューサー
	乗浜 誠二	株式会社ナレッジコンスタント	代表取締役
	舟山 大器	株式会社横浜環境デザイン	社長室長
	新 和也	オートデスク株式会社	メディア&エンターテインメント テリトリーマネージャー
	佐々木 伸彦	ストーンビートセキュリティ株式会社	代表取締役
職能団体	篠原 たかこ	CG-ARTS 公益財団法人画像情報教育振興協会	教育事業部 事業部長
	中台 浩正	東京商工会議所 新宿支部	事務局長
	米井 翔	一般社団法人組込みシステム技術協会	研修委員会 副委員長
高校教員等	勝間田 清一	日本大学生物資源科学部	講師
	松下 秀房	目白研心中学校・高等学校	理事 校長
	四條 勇人	株式会社ウィザス	教育運営部 ICT 推進室 室長
日本語学校	沼田 宏	株式会社インターカルト日本語学校	教務部長
卒業生	谷 伸城	株式会社アプリケーションプロダクト	プロジェクトマネージャー

地 域	小澤 博太郎	百人町西町会	会長
保護者	植村 美智子		
	本郷 幸子		
	厚川 万里子		
	竹中 伸江		
在学生	大久保 匠真	コンピュータグラフィックス研究科	2年生
	阿部 一恵	コンピュータグラフィックス科	1年生
	新井 大成	ゲーム制作科	1年生
	松井 双綺	高度情報処理科	1年生

日本電子 専門学校	船山 世界		校長
	杉浦 敦司		副校長
	五十嵐 淳之	クリエイター教育	部長
	大川 晃一	エンジニア教育	部長
	内田 満	総務部	部長
	高橋 陽介	キャリアセンター	センター長
	大野 通江	学事部	部長

4. 進 行

時間	内 容	担当
15:00	開会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の予定案内 ・ 配布資料確認 ・ 学校側参加者紹介 	司会： 五十嵐
15:15	令和元年度自己点検中間報告会	進行：舟山 (委員長)
	<p><令和元年度教育重点項目></p> <p>1. NEXT10「日本電子専門学校さらなる伸張」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「建学の精神」の実現に向けた「教育の質の保証・向上」 ②EM・IRによる組織的學生指導体制の充実 ③學生主導で社会人基礎力を養うキャリア教育の充実 <p>2. 新教育体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ④クリエイター教育・エンジニア教育・学事部・キャリアセンター 広報部 	船山
15:50	評価用紙記入	
16:00	<前期トピックス報告> 「学生の学習成果」について報告（映像上映）	五十嵐
16:10	情報経営イノベーション専門職大学について	宮島
16:20	全体自由意見	
17:00	終了	

5. 全体自由意見

【株式会社ぴえろ 浅賀様】

日本電子専門学校は真面目なイメージがある。卒業生のアンケートを読ませていただいたが、企業側から見る学校と重なっている部分が多い。私はクリエイティブな仕事に就いているが、もう少しエッジのかかった人間を育てることも学校の使命ではないだろうか。やんちゃな学生も 100 人の内 1 人～2 人は温かく育てていってほしいような学校になってほしい。

【株式会社スタジオフェイク 石本様】

1 つ目、ポリシー策定プロジェクトの件 2019 年度の 6 学科がどのような内容にあるのか概要を教えてください。

2 つ目、EM と IR の件。アンケートの取得は素晴らしいが、学生指導への質向上へのラインが見えにくい。

3 つ目、学生主導の取り組みが活発なのも素晴らしいが、キャリア教育にどのように結びついていくのか評価基準が曖昧に感じた。今後の改善を期待している。

4 つ目、i 専門職大学について、構想理念等は素晴らしい。定義、設置基準も拝見したが、微細なポイントのみ素晴らしい質ではあったと思う。イノベーションの定義は難しいと言われている、奥深い分野である為今後の発展を期待している。

【株式会社スタジオフェイク 井沢様】

1 つ目、「平成 30 年度卒業生アンケート」面白く拝見させていただいた。工業系の傾向について理解したものの、平均以下の項目をご確認いただき、改善につながるヒントを見ていただいたほうがよいのではないかと感じた。

2 つ目、新教育体制の確立について今までがどうだったかは記憶にないが、クリエイター系とエンジニア系との連携を強化するとよいのではないだろうか。

【株式会社コンセント 川崎様】

日本電子専門学校は施策を検討した際、大学をベンチマークにされていると感じる。大学はこれから変革していく為、良いも悪いもあってよいと思うが、専門学校は世界の傾向をみて集団で考えていない為、大学がベンチマークというのは非常に良いと思う。

次から次が変わっていったとしても、トレンドにあった施策が盛り込まれている。新しく専門職大学との連携が早くなれば、トレンドを捉えながらうまく立ち回れるのではないだろうか。

【株式会社ナレッジコンスタント 乗浜様】

学校の改善に関してよくできている。教育に関してプログラミング今後充足と充実を図ってほしい。ただ、新分野・新技術に関しては IT 関連のものは積極的に取り入れながら時代の最先端の教育ができる学部学科を作っていければよい。

それが専門学校の小回りの利く、ある意味大学との差別化につながる。

より幅のある意見や情報、教職員をはじめとした卒業生、学校関係者から吸収していき、日本に入ってくる企業のトレンドを抑えられれば良いのではないだろうか

【オートデスク株式会社 新様】

アンケートをたくさん見せていただきありがとうございます。日本電子専門学校は伝統もあり、CG だけで見てもトップクラス、既卒者もトップクラスの方が多い。NEXT10 と聞いたとき、変わらないイメージを感じた。またワクワクしてこなかった。次の 10 年がどうなるのか説明を聞いていても伝わらなかった。

逆に、専門職大学の方はワクワクするような取り組みを皆さんも感じたと思うので、日本電子としても同じような形で我々をワクワクさせていただければ、私たちも周りに話しイメージもさらに良くなっていくのではないだろうか。

【ストーンビートセキュリティ株式会社 佐々木様】

卒業生アンケート非常に興味深く拝見した。満足度や職業意識、就職支援もレベルが高く日本電子の強みが出せているのではないかと思う。1 点、取りたい資格について低いという説明があったが、実際世の中に出ると指標として今後参考になると思う。また、違う視点で言うと資格にとらわれず、実践的なところで学習できている部分があるのではないだろうか。

資格一つマイルストーンとして知識の体系化は重要なポジションになる。私も IT 業界に務めているがとらわれないで、強みにいかせる人も多くいる。様々なコンテスト等々に入賞されている方も多くいるため、勝負できるような積極的な後押しや仕組みを工夫されると優秀な方の後押しをできるのではないだろうか。

【CG-ARTS 公益財団法人画像情報教育振興協会 篠原様】

前回から評価委員に参加させていただいており、編成委員会にも参加をさせて頂いている。こういったことに日本電子は真摯に取り組まれていると感じている。

教育者の方、新生、卒業生へのアンケートもここまで取り組まれている学校は少なく、非常に素晴らしい。アンケートの 22 番、24 番のシラバスや授業の内容に関する点について 5 より 4 の方が高くなっているところで、ここに隠されている先生方のご意見などを掘り下げ、改善されたらいかがだろうか。

【東京商工会議所新宿支部 中台様】

事業者側として、若者の離職が多くなっている。隣の芝生が青くみえるのかもしれないが、その点は企業側と日本電子と連携を強化しインターンシップ等を取り入れ、学生に対し働く事への意識づけをしていただきたい。

それから先ほどお話があったように、先生方のアンケートについて既存のカリキュラムであったとしても、分析して改善し、学生が興味をもってわかりやすくしていく。その点の改善については常に怠らずやっていただきたい。

【一般社団法人組込システム技術協会 株式会社インフォテック・サーブ 米井様】

教育重点項目の内容に関して、一つ一つ着実に実施されている印象を受けた。資料も新体制に変わり、一つ新しいまとまり見やすくなっているので、十分評価に値する取り組みはされている印象がある。アンケートに関しては単連で出すよりも、御校は伝統ある学校である為、毎年経過を見て、大事にするところ、改善すべきところを見極めて進めて頂ければと思う。

【日本大学 生物資源科学部 勝間田様】

全体的に様々な点に関して非常に細かく対処している。学生のアンケートも満足していると受け取れるデータが多い。教育が本来である為、学生が「もうだめだ」と諦めそうになったときに「もう一步、やっごらん」というと伸びていく。

それから授業や教育ではもう少し厳しくやってもいいと思う。度が過ぎてはいけませんが、叩けば叩くほど若い人達は伸びてくれる。

また、アンケートで「もう少し、もう一步」というような内容があるが、あまり細かく見なくてよいのではないだろうか。

全体的に学生の就職や自分のスキルが伸びるようにしていけば、今よりさらに良くなるのではないだろうか。

また、大学について専門学校卒業者が、編入することはできるのか。

それから、トピックスの報告とあったが、静止画ばかりであった為もう少し工夫が必要なのではないだろうか。動画を入れても良い、それこそ学生に作らせても良いのではないだろうか。

【目白研心中学校 高等学校 松下様】

NEXT10 についてデータ化が行き届いており、評価委員としては細かいところまで見える化が図れてよい。このようなデータを活用する際、どうしても細かいところでネガティブな発想をする人が多い。ネガティブな発想より、ベクトルがどうなっているか、あるいはトレンドがどうなっているか考える事が、組織として重要だと思う。こういう試みを数年され、持っていかれた方が改革につながっていくのではないだろう

か。

新教育体制の確立については、学生が授業以外の活動でいろいろと場を設定しているということは、人間力の向上、育成の観点から考えると非常に良い試みだと思う。コミュニケーション力あるいは、グループワーク力。それから、ファシリテーション力はこの21世紀を生きる人間として求められる。どうしても理系の出身というのは、人間関係能力や議論する場では狭い、弱い。特に国際的に日本の議員は弱いといわれている。そういう面では、ファシリテーション力等が求められるため、もっと育成されたほうがよい。

大学が認定され、電子学園全体で専門学校と大学との立ち位置に関して、どのように違うかやがて社会から求められるはず。

大学で起業家を育成するという、大きな目標がある。では、どのように起業するのか。今現在日本や世界の問題について、現代の教育の中ではこと行われていない。大学の基礎学年で講座を設けた方が育成につながっていくのではないだろうか。

【株式会社ウィザス 四條様】

4 回目の参加となるが、課題について一つ一つ取り組まれていて、アンケートも非常に細かく集計して、今後に活かしていこうという姿勢が感じられた。

アンケートの結果が高いものもあり、他の企業様からお話しがあった通りスキルの問題は少ない。しかし、社会に出ていく際、意欲的に学んでいく姿勢や、コミュニケーション能力をどのように育むのか。どのように進めていくのかが重要なポイントになるのではないかと感じた。

【株式会社インターカルト日本語学校 沼田様】

常に厳しすぎるのではないかと思うくらいの自己評価を、自己点検をされており目標にむかって解決をしていく姿勢。冒頭に船山校長先生のお話しがあったが普通の改善を見習っていきたいと感じた。

日本電子専門学校には多くの留学生が在学していると思うが、その学生たちの満足度であったり、卒業後どのようなようになっていっているのかより詳しく教えて頂ければと思う。

先ほどから数名の委員様から、お話をいただいているが卒業生のアンケートに関して、全体的に素晴らしい結果だと思うが、「取りたい資格が取得できる」が低かった点について、日本電子さんの方針の中で、卒業までに取得すべき資格について提示し、力を入れているとお聞きした。どちらが先か。数値やデータがあり目標を立てたのか。あるいは、指導をしながらこのようなデータが出てきたのかどちらが先なのかかわからないが、資格にとらわれない考え方も一理あるとは思いますが、分かりやすい目標として資格というものが、なぜこのような数字になったのか理由を分析されたら良いのではないかと思います。

【株式会社アプリケーションプロダクト・ソリューション統括本部 谷様】

EM、IRに関するアンケートに関して数値で評価されており素晴らしく感じた。ポリシー策定プロジェクトについて、どのように評価されていくのか疑問に感じた。学校関係者評価では就職率、資格合格における最低ラインを設けたうえで目標をたて、ポリシーを策定しカリキュラムに落とし込み、最後は学生の能力を評価できるようになると良い。

【百人町西町会 会長 小澤様】

学生から見る先生方は自分たちのお手本。例えば笑顔で挨拶をする。一見誰でも出来そうに感じるがこういうことに時間をじっくりかけていき継続していかなければならない。

学生に技術教育だけでなく、心の教育として十分しみ込んでいくのではないかと思う。これからもメンタルの部分を継続して改善等行っていただきたい。

【(保護者) 植村様】

3年間参加させていただき、見えないものが見えることもあり振り返ることができ良かった。

私の息子はすごく消極的で、できれば目立ちたくないタイプで、スポーツフェスティバルにしても行きたくない、日専祭にしても行ってもやることがないと言ってみたり、とても心配だった。いろんな企画に参加させていただき、3年生の後半は、企業や異なる学年に対してプレゼンをする機会がすごくよかった。伝える力や専門技術を養うことができた。

【(保護者) 本郷様】

本日報告を拝見し、教員の自己診断や卒業生・在校生向けのアンケートはとても良いと感じた。保護者として気づく点もあった。アンケートの結果をもとに今後の改善にもつながると思うので、これからも学生第一の教育をお願い致します。

【(保護者) 厚川様】

先月開催された保護者会に参加させていただいた。その際に、就職の話について聞くことができ、学校側にしっかりとしたサポート体制を知ることができた。

そういった説明会を開催していただけることが、保護者にとって安心することができた。

学生本人になるのですが、2年、3年の課程の中で技術を習得し、就職しなくてはな

らないことに不安が多くあるかと思えます。アンケートの中で、「先生と学生との交流の機会が多かった」、「学区内で就職の相談をしっかりとできた」というところに高評価があった。これからも先生たちとのコミュニケーションを取りながら、アドバイスをいただけたら少しでも不安がなくなるのかなと思った。

【(保護者) 竹中様】

評価委員会ということで私としては学校での改善点はないのではと考えており、先生・職員の皆様のご指導は十分だと思っています。しかし、教育の質の向上のために継続し評価していくことは大切だと感じた。

【(在学生) 大久保様】

i 専門職大学について、私は CG を勉強しているが、海外から発信して日本に情報が入っているが日本語で勉強できる環境があまり整っておらず、配信されている動画を確認してもわかりにくい。知識的な面や技術的な面も含め、起業や英語に関しての興味が湧いた。

専門学校から i 専門職大学への編入制度を作っても良いのではないだろうか。

【(在学生) 阿部様】

卒業生に対するアンケートで資格の面の評価が低かった点について、学生の中でこの資格がどうしても必要なのか。この資格を取得したらどのように活かせるのか、わからないまま対策を行っている人がいると感じる。なぜ必要か、どう活かせるのか指導していただければ、さらにやる気向上につながるのではないか。

【(在学生) 新井様】

前回決まっていなかった 2 つのポリシーが決まっており、良かったと思う。

今話があったように、資格に関して学校側で取るように言われている資格に関して、取る理由を詳しく説明がされていない。また、取りたい資格についてなぜその資格を受けないのか説明があれば結果が変わってくると思う。

専門職大学について、とても魅力的なお話だった。他の大学とのシェアハウスや、交流を持てる機会がある為、モチベーションの向上につながると思う。

【(在学生) 松井様】

資格の事について、先日基本情報を受け、今は応用情報の勉強をしており、日本電子専門学校は資格が取りやすい環境だと感じている。さらに、他の科の資格もとれるようになったら良いのではないだろうか。

高度情報処理科では基本情報、応用情報、オラクルデータベースをやっているが、第二種電気工事士の資格を持っている為、できれば電気工事関連の資格も取ることができればと考えている。自分の所属科以外の資格情報が入るようになれば、興味のある人は受けると思う。例えば、ゲーム制作をやっている途中でコンピュータグラフィックスに興味をもち、資格を受けられる。また、高度情報処理科ではネットワークの事はあまり触れないが、ネットワークセキュリティ科でやっているようなネットワーク関連の資格情報が入ってくると、受けやすくなるのではないかと感じる。

V. 付属添付資料

第二回学校関係者評価委員会中間報告説明資料